

第 54 回インテリア設計士資格検定

<1 級学科試験・論文課題>

少子化、過疎化により廃校となった校舎を地域の活性化のための、他の施設として
コンバージョン（機能・用途変更）することになった。
インテリアの設計者として、その企画案を具体的に提案しなさい。

1. 試験時間：1 時間 30 分（午前 10 時 30 分～正午）
2. 記入用紙：配布された指定の論文用紙に記入する。
3. 注意事項
 - （1）論文用紙に、受験票に記載の協会名（都道府県名のみ）と受験番号を必ず記入してください。
 - （2）試験監督員の「開始」の合図に従って書き始めてください。
 - （3）質問があるときは、黙って手をあげてください。ただし、原則として質問にはお答えできません。
 - （4）試験終了時間前に解答ができあがった場合は、試験監督員の指示に従ってください。
 - （5）「終了」の合図と同時に終了し、論文用紙を監督員の指示に従って提出し、速やかに退室してください。
 - （6）参考資料、原稿、コピー等の持ち込みはできません。
 - （7）課題用紙（この用紙）は持って帰ってください。
 - （8）手洗いに立ちたいときは黙って手をあげ試験監督員の指示に従ってください。ただし、原則として学科試験中のトイレ休憩は認められません。
 - （9）携帯電話の電源は、必ず切っておいてください。

第54回インテリア設計士資格検定試験

<1級論文用紙>

<課題> 少子化、過疎化により廃校となった校舎を地域の活性化のための、他の施設としてコンバージョン（機能・用途変更）することになった。
インテリアの設計者として、その企画案を具体的に提案しなさい。
文字数は800字以上1,000字以内とする。

1/3

廃校となる理由としては、地場産業の衰退
による少子化、過疎化が原因と考えられるた
め、地場産業やその他の産業の活性化のため
の施設への変更を考える。

具体的には、ファッション関連産業、デザ
イナー、工芸家、芸術家が入居する施設とす
る。一つ一つの教室は、それぞれの入居者の
仕事場とする。体育館やホールはイベントス
ペースとして用いる。また、教室の一つはギ
ャラリーとして、各入居者の作品を展示し、
アピールすると同時に、地域住民が訪れる場
とし、融合を図る場とする。さらに、レスト
ランやカフェを併設し、入居者が利用するだ
けではなく、地域住民がくつろげるようにす

100

200

る。工房やカフェは、ワークショップの場として地域住民にも開放、交流の場として、これまで地場産業で活躍し地域を支えてきた人たちとのコラボレーションを図る。工作室は、新たに工作台や機械を設置し、みんなの作業場とする。図書室はファッション、デザイン関連の本を蔵書として自由に読める場所とする。教室の一つは、大学のアトリエとして提供し、若い人がそこに集まり活動する場とする。各教室にはIT設備を充実させ、外部へのアピールをしやすくする。コピー機やFAXなどの事務機は一つの教室に集約し、全員が共同で使えるデジタルセンターにすることにより、場所と経費の削減を図る。また、会議室や応接室を設けることでビジネスの商談を行えるようにする。校庭の一部は駐車場にして、来客の来やすい環境を整える。

入居者や地域住民が集まる場所となるため

300

400

500

600

バリアフリー、省エネ、エコを意識した改装
が必要と考えられる。

300

バリアフリーについては、子供から高齢者
まで利用することを考え、校舎における段差
を無くし車椅子での移動を考慮しておく必要
がある。廊下や階段には手すりを設け、トイ
レも和式から洋式に、入り口も引き戸に変更
する。

400

省エネについては、太陽光パネルを設置し
て、施設の電力の一部をまかなう。トイレは
節水型にし、水の使用量を減らす。校舎は窓
が多く、冷暖房効率が良くないため、二重窓
にして効率を上げる工夫をする。

500

エコに関しては、改装にあたり天然の素材
を用いた建材を積極的に採用す、旧来の設備
をできる限り再利用、廃材なども活用し、徹
底したエコに努める。

600